

高麗博物館は、市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館として 1990 年から活動を始め、2001 年に新宿に開館しました。江戸時代、日本と朝鮮には豊かな文化交流がありました。「李藝」は室町時代に最初の朝鮮通信使として倭寇対策に生涯をかけ、対話を通して平和な関係を築くために努力しました。日本と韓国・朝鮮の関係は厳しい状況です。今こそ、李藝に学び、隣国との市民交流を積極的に進めていきたいと思えます。

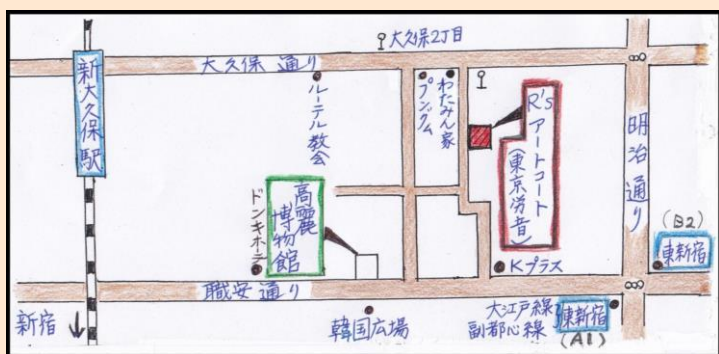
李藝とはどんな人？

今から 600 年前、朝鮮半島から命がけの航海で 43 年間に 40 数回も来日した外交官李藝(韓国語読み・イエ)。地方の役人から世宗大王の信頼厚い外交官となり、室町幕府・足利将軍に謁見するため京都にも出向いた。しかし 8 歳のころ母を倭寇(わこう)に拉致された悲しい過去があった。その憎しみの情を、どのように友愛の情に変えて日朝の友好に人生をかけたのか・・・。



韓国人俳優ユン・テヨンが日本にかすかに残る李藝の軌跡をたどり、釜山から京都までを旅する。旅を通して見えてきたのは、いつの時代も変わらない、

目の前の相手と心を通わせたいと願う人々の姿。日本と韓国・朝鮮人が共に前へ進むために、今だからこそ見たい心に迫るドキュメンタリー。



会場：アートコート

この企画は民族学校関係者・福島からの都内避難者・高麗博物館を支えてくださっている学校の中高大学生等の皆様をご招待しています。

市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館



ナビゲーター ユン・テヨンさん



1974 年、ソウル出身。デビューはテレビドラマ「美しい彼女」。代表作 2007 年「太王四神記」でペ・ヨンジュンの相手役ユン・ホグ

講師 金住則行 (かなすみのりゆき) さん

弁護士・小説「李藝」著者
・映画「李藝」エグゼクティブプロデューサー。1940 年生まれ。弁護士のかたわら多くの文化事業を手がけ、近年は作家としても活躍。① 困った人を助ける ② 才能ある人を支援する ③ 愛のきずなで世界をつなぐを使命としている。2011 年日韓合作ドキュメンタリー映画「海峡をつなぐ光」、2013 年「李藝」を制作統括。2014 年 5 月 31 日より全国ロードショーの劇映画「瀬戸内海賊物語」では「海をつなぐ会」を結成し統括している。今、国と国を越えて人と人が結びあう信(よしみ)こそが大切であると訴える。



申し込み方法

第 1 回、第 2 回、第 3 回のいずれかを、下記の TEL 又は FAX にてお申し込みください。

東京都新宿区大久保 1-12-1 第 2 韓国広場ビル 7F
開館時間 12:00 ~ 17:00
休館日 月曜日・火曜日
TEL : 03-5272-3510 FAX : 03-3207-0533